

# 宇治支援学校の言葉

ウジシエンガッコウのことば

平成24年度 No.5 3/8発行

京都府立宇治支援学校

〒611-0031 京都府宇治市広野町丸山10  
TEL 0774-41-3701 / FAX 0774-45-2220

## 喜びはともにあること ～1年間を終えるに当たって～

城南高等学校時代からの象徴であった満開の桜に包まれてスタートし、今は、当時の梅の老木の可憐な花と香りに包まれ、1年間のゴールを迎えようとしています。

地域の中で学び、地域とともに生活する。学校が大切にしていることの一つです。たくさんの地域の方々に支えられ、御協力をいただき教育活動を実施してきました。ありがとうございました。

この1年、学校を訪れてくださった方から、校内で出会った時、子どもたちも先生方も「こんにちは」とたいへん元気に心のこもったあいさつをしてくれるというお話を聞かせていただくことが多くありました。たいへんうれしいことです。私自身も廊下で出会った子どもたちや教職員が自然とあいさつできている姿をうれしく、また学校の誇りに思っています。笑顔やあいさつは、障害があるとか、ないとかではなく、人が社会生活をしていく上で一番基になる力であると考えます。

この1年ずっと言い続けてきたことは、日々の学習の中で、活動の中で、子どもたちの見える笑顔や子どもたちの挑戦する姿、輝く姿・・・そうした姿を保護者の方とも共有し合おうということでした。「喜びはともにあること」一人の喜びではなく、誰かとともに喜び合いたいという本校の理念でもあります。どれだけの喜びをお伝えし、共有できたかつかみきれませんが、きっとたくさんの喜びをともにすることができたと思っています。

3学期に入り、仲間を失うという悲しいことがありました。小学部の彼は、彼に与えられた命の時間を力いっぱい生きてきました。今は天国の一つの星となり、輝きながら私達を見守り、励ましてくれています。私達は命を大切にした教育を一層進めてまいります。

来年度、本校は開校3年目を迎えます。子どもたちの自立と社会参加を目指して、2年間の教育活動を振り返り、将来を展望しながら、より充実した教育を推進できるよう全教職員一丸となって取り組んでいきます。今後とも本校の教育に御理解と御支援を、いただきますようどうぞよろしくお願い致します。

校長 澤田 均



# 各学部より

## 小学部

「遊びの指導」を中心に据え取り組んできた小学部の最初の行事は、今年も6月のプレイフェスタから始まりました。それぞれの力を発揮し、元気いっぱい身体を使った遊びが展開できました。学習の中に子ども同士の関わりが見られ、友達と一緒に過ごすうれしさや楽しさが、表情に溢れています。友だちと一緒に取り組むことで、できなかったことが一人でできるようになったり、ちょっと苦手なことにも挑戦したり、「ぼく、がんばったよ」と大満足の子どもの姿もたくさん見られた一年でした。



## 中学部

桜の花が満開だった4月から始まった今年度も終わろうとしています。

中学生の時期は心も体も子どもから大人へと成長していく時期です。その大切な時期に生活リズムを整え健康に過ごすこと、友だちのことを理解して一緒に活動すること、学校での自分の役割を知って取り組むこと、地域のひととの交流を通してマナーやルールを学ぶこと、人からほめてもらう喜びを知ることなどを大切にして学習や行事に取り組んできました。3学期は卒業や進級に向けた取組があり、その中で生徒たちの成長した姿を見ることができました。日々の変化は小さくても、一步一步確実に成長してきた生徒たちに頼もしさを感じます。

高等部や新しい学年になっても、さらに活躍してくれると期待しています。



## 高等部

### ～地域の中で共に生きていく～

34名が今年度宇治支援学校を卒業します。卒業生は学部をリードし、頼もしく、後輩の励みとなりました。その一端を紹介します。

#### ① 西宇治体育館での清掃にチャレンジ！

日頃培った態度・技能を発揮。利用者さんと気持ちよく挨拶し、役割を果たすことができました。

#### ② エコ貢献活動 ～ペットボトルキャップの回収～

地元企業やPTAの協力を得て、キャップを集め、みんなで洗い・数え、先日工場へ！(役立ち感、地元とのつながり)

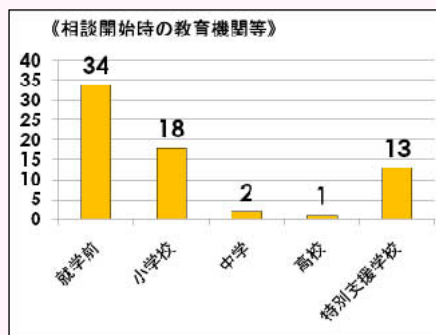
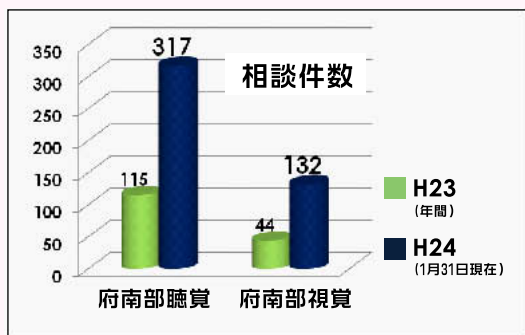
#### ③ 和太鼓サークルとくらし健康コースとのコラボ

手や身体に伝わる振動、テンポの良いリズムが会場みんな「心ひとつ」にした。(台湾特別支援学校との交流会にて)



## 京都府スーパーサポートセンター

京都府スーパーサポートセンターの機能のひとつとして、府南部の視覚・聴覚に障害のあるお子さんへの相談支援を行っています。今年度は非常に多く御活用いただきました。



全体としては幼児期のお子さんの相談が多いですが、特別支援学校在籍のお子さんの相談もあります。特に宇治支援学校のお子さんには、気軽に活用していただけたかと思っています。日々の生活や教育にいかせる相談となるよう頑張っています。次年度もどうぞ御活用ください。